



# 2018年12月期 決算説明会

(2019年2月22日)

千代田インテグレ株式会社

(東証1部：6915)

## 2018年12月期 連結業績

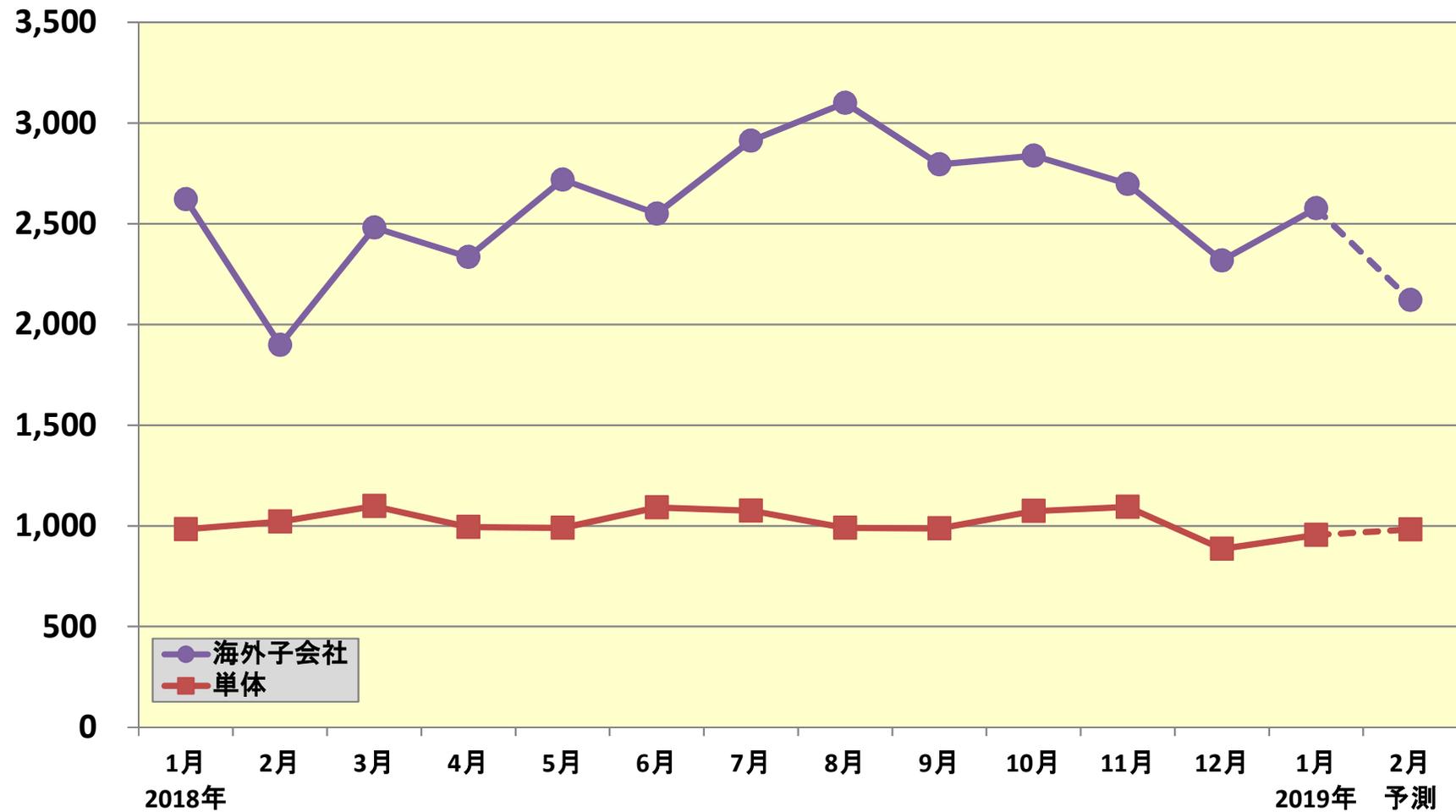
	2017年	2018年	増減額	増減率
単位： 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)		
売上高	38,700	40,324	1,623	4.2%
売上総利益	8,640	8,799	159	1.8%
	22.3%	21.8%		
営業利益	2,642	2,646	3	0.1%
	6.8%	6.6%		
経常利益	2,758	2,789	30	1.1%
	7.1%	6.9%		
為替レート /US\$	112.16円	110.44円		

## 2018年12月期 連結業績のポイント

<p>売上高</p>	<p>✓為替の影響額 +1.3億円                  ✓業種別純増額 +15億円                  (OA機器 -3.8億円、AV機器 +14.5億円、                  通信機器 -3.4億円、自動車 +3.6億円、電子デバイス +3.9億円 など)</p>
<p>営業利益</p>	<p>前期比 300万円増加                  ✓売上総利益率の低下 (22.3%→21.8%)                  ・スマホ・テレビ→上半期は悪化したが、下半期は生産性改善等により回復                  (上半期 21.2% / 下半期 22.4%)                  ✓減価償却費の増加 -0.6億円</p>
<p>親会社株主に                  帰属する                  当期純利益</p>	<p>前期比 2.9億円減少                  ✓特別利益 -4.0億円                  ✓法人税等の減少 +0.6億円</p>

# 単体・海外子会社の月次売上高の傾向

(単位:百万円)



## 2018年12月期 単体業績

	2017年	2018年	増減額	増減率
単位： 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)		
売上高	12,430	12,300	△ 130	△ 1.0%
売上総利益	2,797	2,641	△ 156	△ 5.6%
	22.5%	21.5%		
営業利益	91	△ 115	△ 206	-
	0.7%	-		
経常利益	1,541	3,009	1,468	95.3%
	12.4%	24.5%		

## セグメント別業績(日本)

単位: 百万円	2017年	2018年	増減額	増減率
外部顧客売上高	9,957	9,857	△ 100	△ 1.0%
セグメント間の 内部売上高	3,450	3,357	△ 93	△ 2.7%
合計	13,408	13,214	△ 194	△ 1.4%
営業利益	138	△ 95	△ 233	—
営業利益率	1.4%	—		

※日本地域には国内子会社 1 社が含まれています

事業領域の拡大に努めてヘルスケアが伸長したものの、  
OA・通信機器向けが落ち込みました

## セグメント別業績(東南アジア)

単位: 百万円	2017年	2018年	増減額	増減率
外部顧客売上高	14,640	15,661	1,021	7.0%
セグメント間の 内部売上高	101	101	0	0.0%
合計	14,741	15,763	1,022	6.9%
営業利益	1,194	1,364	170	14.3%
営業利益率	8.2%	8.7%		

OA・AV機器や自動車向けが堅調に推移しました

## セグメント別業績(中国)

単位: 百万円	2017年	2018年	増減額	増減率
外部顧客売上高	11,032	11,179	147	1.3%
セグメント間の 内部売上高	884	827	△ 57	△ 6.4%
合計	11,916	12,007	91	0.8%
営業利益	660	606	△ 54	△ 8.2%
営業利益率	6.0%	5.4%		

市場環境の影響でOA機器向けが伸び悩みました

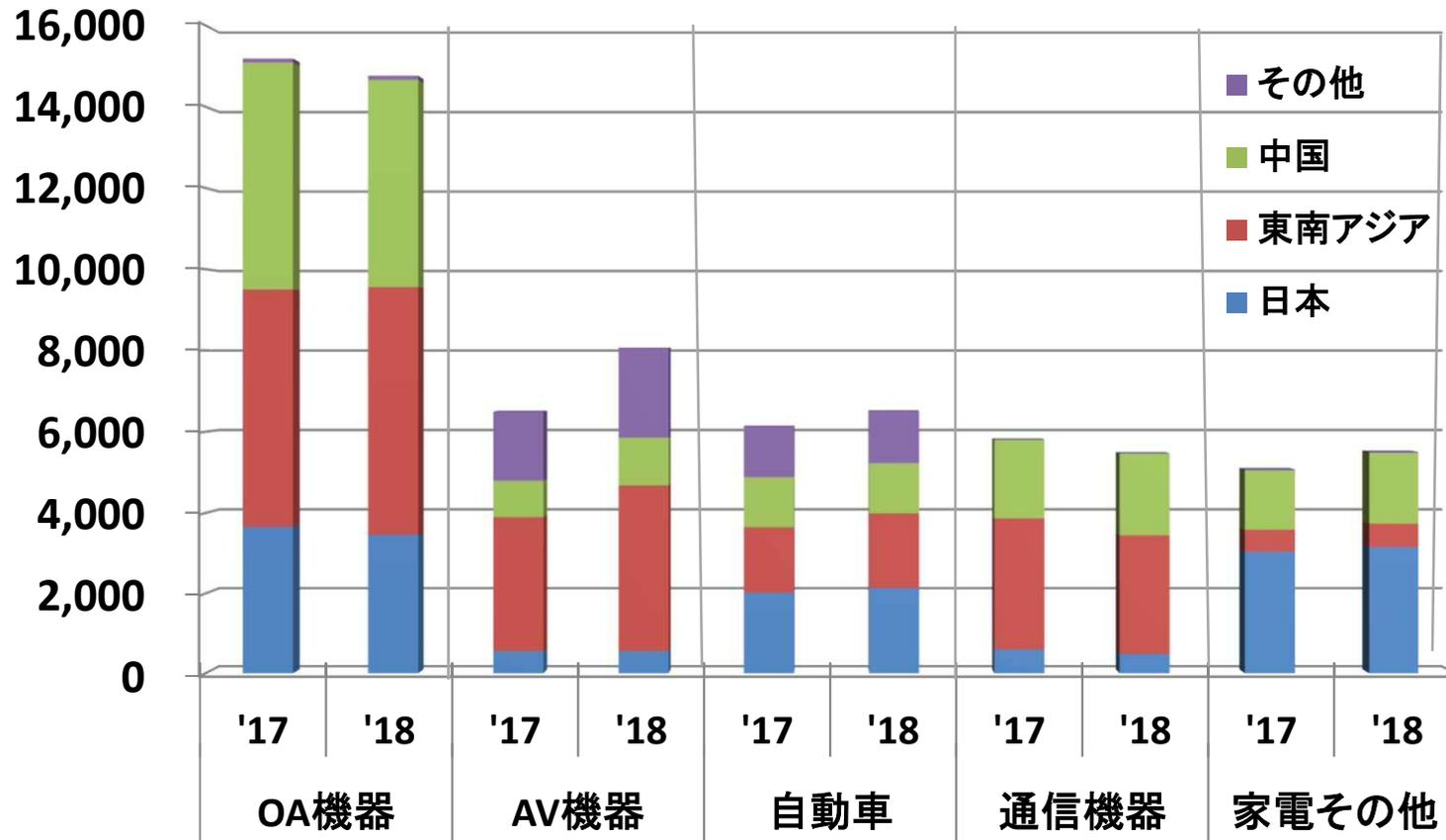
## セグメント別業績(その他)

単位: 百万円	2017年	2018年	増減額	増減率
外部顧客売上高	3,070	3,626	556	18.1%
セグメント間の 内部売上高	23	41	18	78.3%
合計	3,093	3,667	574	18.6%
営業利益	△89	△18	71	—
営業利益率	—	—		

米国でのAV機器向けが伸びました

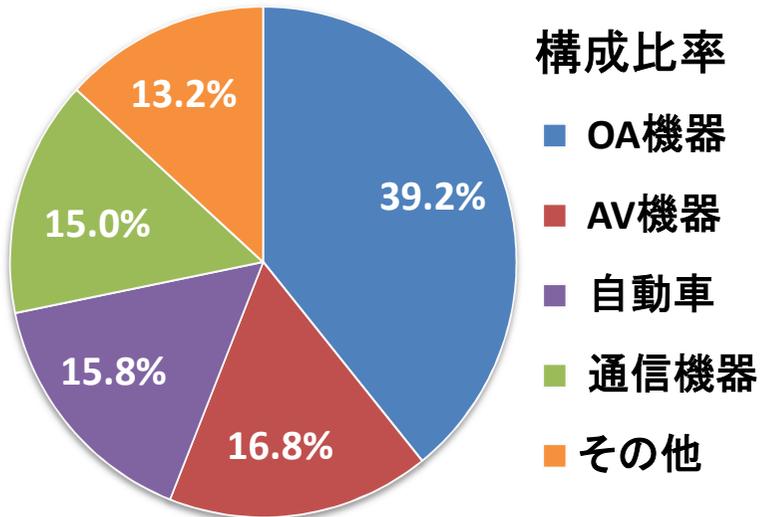
# 業種別売上高の比較(連結)

(単位:百万円)

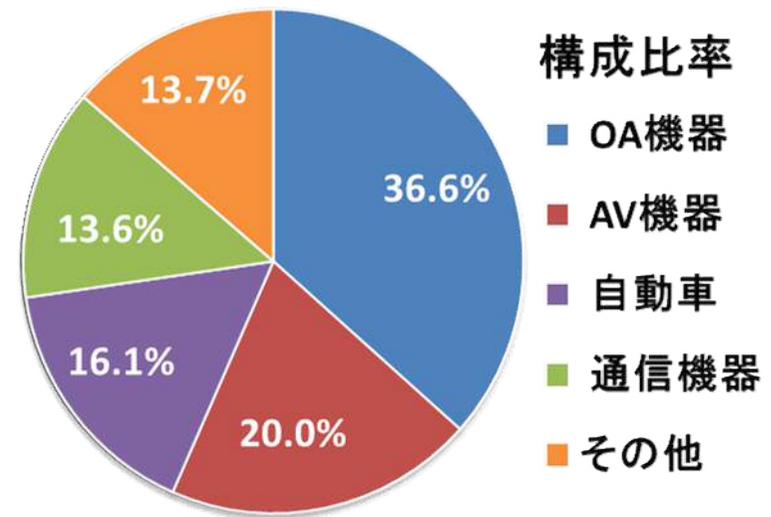


# 売上高に占める主要業種の構成比(連結)

2017年12月期



2018年12月期



## 設備投資と減価償却費

単位：百万円		2017年	2018年	2019年 (予測)
設備投資	日本	209	256	300
	海外	1,286	1,004	1,300
	合計	1,495	1,260	1,600
減価償却費		1,003	1,070	1,100

### 2018年の主な設備投資

- ・機械設備：932百万円
- ・土地建物：242百万円

### 2019年の主な設備投資(予定)

- ・機械設備：1,200百万円

## 2019年12月期 連結業績見通し

	2017年	2018年	2019年	備考
単位： 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)	予想 (構成比)	
売上高	38,700	40,324	42,000	特に自動車やデバイス分野に注力し、 売上拡大を図ります。
営業利益	2,642 6.8%	2,646 6.6%	2,900 6.9%	生産性改善により利益率向上を図り ます。
経常利益	2,758 7.1%	2,789 6.9%	3,000 7.1%	営業利益とほぼ同額を見込みます。
親会社株主 に帰属する 当期純利益	2,386 6.2%	2,090 5.2%	2,200 5.2%	
為替レート /US\$	112.16円	110.44円	108.00円	

## 利益配分に関する基本方針

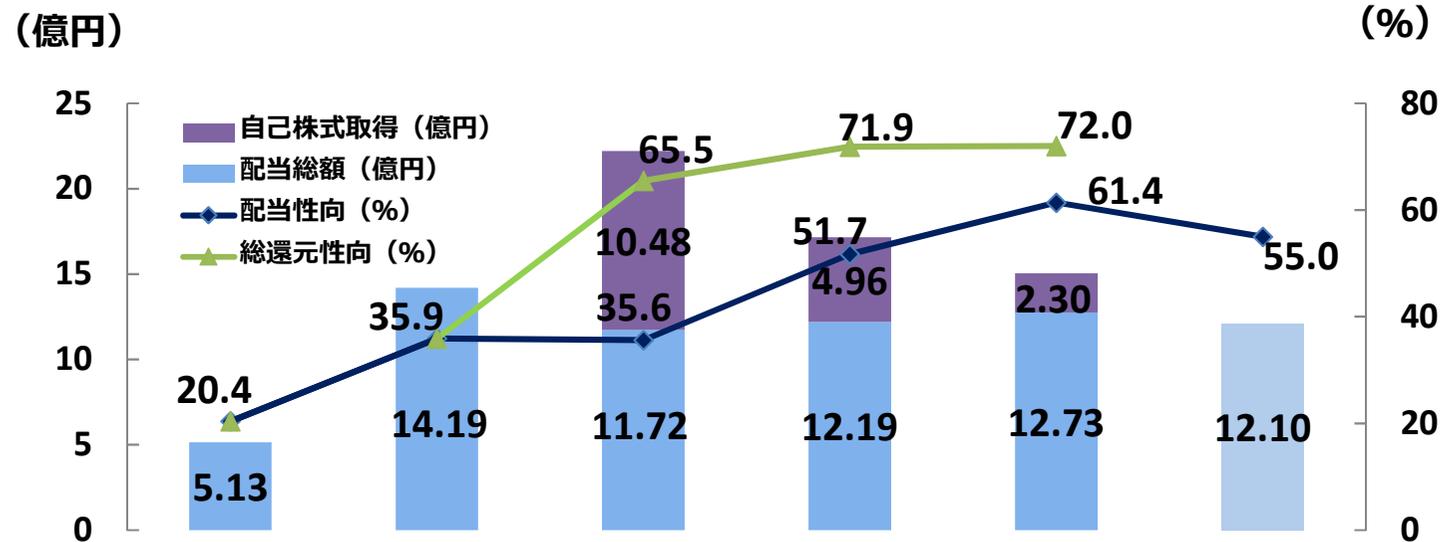
2016年12月期から2018年12月期までの3期について

- ① 配当性向は35%以上を目処
- ② ROE10%以上の維持を目標として、株価水準や市場環境等を勘案しながら、総還元性向80%を上限とした自己株式の取得を機動的に実施

### ○2018年12月期

- ・ 自己株式消却            600,000株（発行済株式総数の4.2%） 2月28日実施
  
- ・ 自己株式取得            100,000株（発行済株式総数の0.8%）  
金額：230百万円    10月12日～12月20日実施
  
- ・ 総還元性向            72.0%
- ・ ROE                    6.0%
- ・ 1株当たり配当金    100円（配当性向 61.4%）

# 株主還元の様況



	'14.08月期	'15.08月期	'16.12月期	'17.12月期	'18.12月期	'19.12月期 (予想)
期末配当 (円)	38	105	90	95	100	95
配当総額 (億円)	5.13	14.19	11.72	12.19	12.73	12.10
配当性向 (%)	20.4	35.9	35.6	51.7	61.4	55.0
自己株式取得 (億円)	0	0	10.48	4.96	2.30	-
総還元性向 (%)	20.4	35.9	65.5	71.9	72.0	-

※'15.08月期末配当：記念配当 10円を含む

## 本資料の取扱上のご注意

本資料で記述されている将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

その見通しは世界経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等により変動することがあり得ます。

実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性もありますことをご承知おきください。